



# 美 唄

B i b o i

## 学術講演会

10月20日(木)午後6時30分より「美唄市ホテルスエヒロ」において、平成17年度美歯会学術講演会が開催されました。講師として佐野英彦北海道大学歯学部大学院（歯科保存学第一講座）教授をお迎えし「臨床医が知っていなければならない接着の理論と実際について」をテーマにご講演いただきました。

毎日の診療で避けて通ることのできないレジン修復では接着技術の進歩は著しく、各メーカーより様々な接着様式の製品が溢れ、どの製品を選択すれば良いのか混乱することも多い現状です。

講演ではコンジットレジンを使った臨床の実際（直接法、間接法）にはじまり、モイスト（ウェット）ボンディングシステムと日本で進歩してきたセルフエッチングシステムの接着様式の違いからお話されました。さらにセルフエッチング系のなかでも、従来からの2ステップタイプと近年現れた1ステップタイプ（オールインワンタイプ）の開発経緯・接着様式・強さの違い（現状の国内で手に入る製品では、2ステップの方が1ステップに比べて接着強さは勝る）やそれぞれを用いる際のメリット・デメリット・そして両者の今後の発展の方向性などについて述べられました。さらにホワイトコートの開発の経緯・臨床例・そして応用編としてマニュアルにはない裏技なども紹介され、時間いっぱい沢山の内容のご解説がありました。

先生の教室における豊富な最新の研究データ（各種接着剤の象牙質に対する接着強さの比較など）や、多数の製品の開発に携わったお話を懇切

丁寧にご解説いただくことで、見えない世界のお話を見えるように理解することができ、大変に勉強になりました。

日々の診療においてレジン修復を確実に成功させるにはそれぞれのシステムの操作ステップをメーカーマニュアルの通りに行うことが重要であることも再確認させられました。

講演終了後は佐野教授を囲んで懇親会が行われ、お酒を酌み交わしながらもさらに熱心な質疑応答は続きました。最後に佐野教授におかれましては、ご多忙中のなか貴重な時間をさいて美唄まで越しいただき心より感謝申し上げます。

（滑川貴彦記）

